

拝啓 日照時間不足の夏が続いています。時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第 33 回生殖・発生毒性学東京セミナーを下記の概要で開催する運びとなりました。今回は、生殖細胞変異原性試験や幼若動物を用いた試験法、さらに生殖・発生毒性試験における動物福祉について、それぞれご講演していただきます。ご参加をお願い申し上げます。

敬具

【演題】

1. 生殖細胞変異原性試験と次世代影響

国立医薬品食品衛生研究所 増村 健一 先生

「遺伝毒性試験における生殖細胞変異原性の位置づけを概説するとともに、遺伝毒性物質が次世代個体ゲノムに与える影響を次世代シーケンサーを用いて測定した研究事例を紹介する。」

2. ICH S11 小児用医薬品開発のための非臨床安全性試験ガイドラインの方向性

武田薬品工業 松本 清 先生

「ICH S11 ガイドラインを作成するに至った背景、ガイドラインの現状及び今後の展望について紹介する。合わせて、幼若動物を用いた毒性試験を取り巻く現状、問題点、考慮すべきポイントなどを概説する。」

3. 安全性試験における実験動物福祉の担保

鹿児島大学 黒澤 努 先生

「国際的な観点から、動物実験は 3Rs を基本として行うことが不可欠で、生殖・発生毒性に関しても Refinement の厳格化が進められている。ISO 10993-2 及び米国 FDA GLP 規則改正案を中心に国際的な実験動物福祉の現状を講演する。」

生殖・発生毒性学東京セミナーは、12 名の実行委員が世話人として持ち回りで開催しています。

<セミナー実行委員> ○：第33回担当委員

- | | |
|--------|----------------------|
| ○山本 大 | (株)LSIメディエンス |
| ○宇佐見 誠 | 国立医薬品食品衛生研究所 |
| 太田 亮 | (一財)食品薬品安全センター 秦野研究所 |
| 松岡 俊樹 | 第一三共(株) 安全性研究所 |
| 則武 健一 | (株)サンブラネット |
| 名波 加奈 | (公財)食品農医薬品安全性評価センター |
| 清水 達也 | (株)イナリサーチ |
| 小林 健一 | (独)労働安全衛生総合研究所 |
| 石原 可奈 | 中外製薬(株) 安全性研究部 |
| 宇部 雅進 | 田辺三菱製薬(株) 安全性研究所 |
| 鷹野 正生 | (株)ボゾリサーチセンター |
| 中島 幹夫 | 旭化成ファーマ(株) 安全性・動態研究部 |

ご質問、ご意見、ご要望は下記にお寄せください。

生殖・発生毒性学東京セミナー <http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>

<事務局> 日本バイオアッセイ研究センター

奥田 裕計 神奈川県秦野市平沢 2445 TEL:0463-82-3911

e-mail : hirokazu-okuda@Jbrc. Johas. go. jp

日時： 2017年9月29日（金） 13:30～17:00
 会場： 「独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター」
 センター棟4階、402室 （別添地図参照）
 懇親会： カルチャー棟2階「レストラン とき」
 会費(当日)： セミナー：1,500円（学生・大学院生 JTS 名誉・功労会員無料）
 懇親会：一般3,500円、学生・大学院生1,000円

プログラム

- 13:15～13:30 受け付け
 13:30～13:35 開会のことば
 進行 宇佐見 誠 委員 国立医薬品食品衛生研究所
 山本 大 委員 (株) LSI メディエンス
1. 13:35～14:35 「生殖細胞変異原性試験と次世代影響」
 国立医薬品食品衛生研究所 増村 健一 先生
 ～14:45 休憩
2. 14:45～15:35 「ICH S11 小児用医薬品開発のための非臨床安全性試験
 ガイドラインの方向性」
 武田薬品工業 松本 清 先生
3. 15:40～16:50 「安全性試験における実験動物福祉の担保」
 鹿児島大学 黒澤 努 先生
 ～16:55 閉会のことば
 17:10～18:40 懇親会

※セミナー・懇親会ともに、ノーネクタイのカジュアルな服装でご参加ください。

※セミナー終了後に懇親会を企画しています。会員相互の親睦を深めると共に情報交換の場としてご活用ください。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

※企業や団体の参加者で、リーフレットの配布、資料等の展示がございましたらお申し出ください。半机分のスペースを準備いたします（無料）。

（事務局から） 懇親会参加希望者は9月21日（木）、セミナー参加希望者は9月27日（水）までに、氏名・所属・連絡先（住所、TEL、e-mail）をご記入の上 e-mail で事務局にお申込みください。学生の方は明記してください。なお、当日受付（懇親会含む）も行いますが、ハンドアウトを配付できない場合もありますのでご了承願います。

生殖・発生毒性学東京セミナー

事務局

奥田 裕計

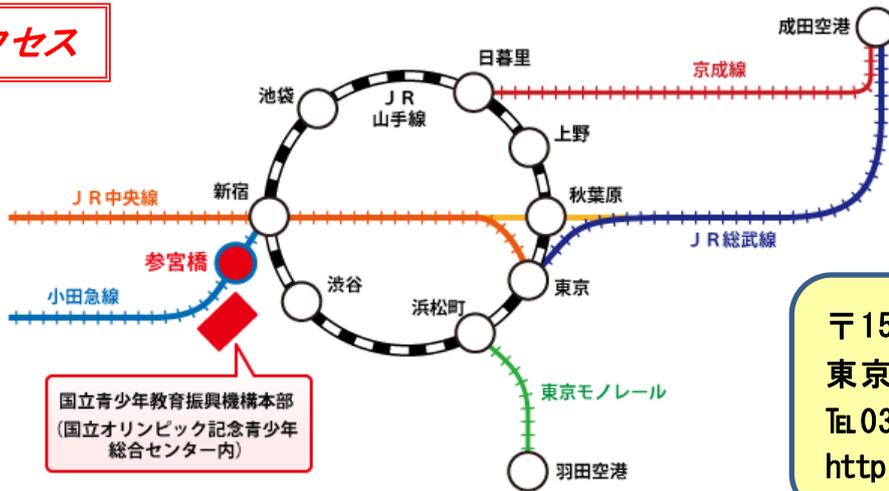
<http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>

日本バイオアッセイ研究センター

神奈川県秦野市平沢 2445 TEL:0463-82-3911

e-mail: hirokazu-okuda@Jbrc.Johas.go.jp

アクセス



国立青少年教育振興機構本部
(国立オリンピック記念青少年総合センター内)

〒151-0052
東京都渋谷神園町 3-1
Tel 03-3469-2525
<http://nyc.niye.go.jp>

JR 東京駅から

JR 中央線 約 14 分 新宿駅乗り換え
小田急線 各駅停車 約 3 分
参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分

小田急線

参宮橋駅下車 徒歩約 7 分

地下鉄千代田線

代々木公園駅下車
(代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分



国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター

参宮橋からの[歩道橋]を使った経路



参宮橋からの[横断歩道]を使った経路



懇親会：カルチャー棟 2 階「レストランとき」

セミナー会場：
センター棟 4 階、402 室



若手研究者フォーラム@第33回生殖・発生毒性学東京セミナー

募集要項

生殖・発生毒性学東京セミナーは、若手研究者に対して生殖・発生毒性学に関わる広く種々の情報を交換する場と機会が必要と考え、「若手研究者フォーラム」を開催しています。産官学の様々な立場からの意見や話題は若手研究者にとって将来の貴重な財産になると考えます。

「若手研究者フォーラム」は、研究室や教室単位のご応募を基本としますが、個人でのご応募も配慮します。質疑応答の時間を多く取りますので、考察や結論が確定していない内容でも構わないと考えています。多数のオーディエンスを前にしての口頭発表での経験や激励が今後の研究生活に活かされることを期待しています。従いまして、午後のセミナーへの参加希望者には、この若手フォーラムにもぜひご参加いただけるようお願いするとともに、多大なご声援と協力をお願いします。

日時：2017年9月29日（金）、午前9：30～11：30（予定）、会場使用8：30～12：00

会場：（独）国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階402室

会費：無料。（発表された学生・大学院生は午後のセミナー・懇親会費も無料とします。）

発表：発表7～15分+質疑応答8～10分を基本とし、1研究室2～4題（40～60分）とします。司会・進行は指導教官等が担当してください。

応募：2017年8月18日（金）～9月5日（火）。学部学生・大学院生の場合は、指導教官が一括してご応募ください。

応募方法：生殖・発生毒性学東京セミナー事務局に e-mail、または HP <http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>「会員専用」→「発表申込」からご応募ください。

ご協力のお願：受付、会場の準備にご協力ください。

注意：ご応募が少ない場合には中止にさせていただくこともあります。

発表の内容が決定し、プログラムができあがり次第、会員の皆様には案内をさせていただきます（9月中旬以降予定）。また、HPのお知らせにも掲示いたします。

生殖・発生毒性学東京セミナー 実行委員・事務局

<事務局>

日本バイオアッセイ研究センター
奥田 裕計 神奈川県秦野市平沢 2445 TEL:0463-82-3911
e-mail: hirokazu-okuda@Jbrc. Johas. go. jp